



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部 部報

Bulletin 2009-2010年度 3号 2010. 7 発行



京都部部長主題 豊かな心 熱き思い — 5 5 5 実現に向けて
西日本区理事主題 「すべてのいのちを大切に」 — いのち・平和・環境 —
“Love & Care for All the Living Things”
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
“Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」

『京都部部長って良いものですよ！』

京都部 部長 山中將平 (第14代)

(京都洛中ワイズメンズクラブ)



阪田部長にすべてを引き継ぎ、私の部長就任が決まってから約2年ぶりに落ち着いた気持ちでこの原稿を書いています。藤田部長からの引継事項や目標も概ね達成又は予想以上の成果が得られたのではないかと自己評価しています。

部長に就任してよかったこと、①素晴らしい京都部三役、事業主査と出会い、最後まで一体となって活動できたこと。②京都部、西日本区の各クラブ、メンバーとの交流、そして多くの皆様から応援と励ましをいただいたこと③掲げた部長主題「豊かな心 熱き思い」通りの1年となったこと。 <一番熱かったのは私かもしれませんが> ④過密スケジュールで心配していた健康が保てたこと<1年間120回の日程は厳しいものでした>・・・書き出すときりがなくらいです。一年前、午前に最後の評議会を終えられた藤田部

長の笑顔に比べ、午後の第1回評議会を控えた私は食事にも喉に通らないほど緊張し、心底藤田さんが羨ましかったことをはっきり覚えています。

下の写真は第4回評議会の写真です。各役員、各会長のお顔は私と同じく、満足感、達成感に満ちた笑顔です。同じように撮った第1回評議会の表情は私を含め、皆笑顔とは程遠い緊張した顔をしていました。与えられた役職を精一杯頑張ったときの顔がこの写真に表れています。今年度の最後を「みんなと笑顔で迎えたい」という願いが叶った記念すべき一枚となりました。

第14代京都部部長就任の機会を与えていただきましたこと、そして2009～10年度京都部にご支援、ご協力、ご指導いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



第4回 評議会 2010. 6. 20

== 今 期 を 振 り 返 る ==



京都部 次期部長 阪田民明
(京都グローバルクラブ)

京都部第14期山中将平部長より、第4回評議会で重たい部旗の引継ぎを受けました。一年間、次期部長の立場で勉強をさせて頂き、必要な知識をどれだけ吸収出来たかは今後の部運営に現れると思います。いよいよスタートの時を向かえ不安と緊張に心を痛めております。

部の財政も底を突き、事業的にも見直しの時代に突入してまいりました。部は何をすべきか、との疑問を感じます。部は事業をする必要が無いとの厳しい意見も有りますが、最低限度の区や事業主任の要請の事業はする必要があります。この予算ではその事業でさえ満足にする事は出来ません。色々と考えながら、次期の事業計画を考えて居ります。また京都部では会員の減少が続いています。次期最大目標を会員増強と考えています。各クラブ会長、EMC委員長と真剣にその問題を考え増員の為の積極的な事業を行い、歴代部長の思いの555名のメンバー獲得を実現したいと思っております。

山中将平部長、各役員の皆様ご苦勞様でした。一年間のご活躍に心から敬意を表します。今後共、次期メンバーに暖かいご指導をお願い致します。



京都部 監事 新山兼司
(京都トップスクラブ)

山中丸も1年の航海を終え、無事港に着岸致しました。「豊かな心・熱き思い」を主題として、人に対する思いやり、ワイズメンである誇りを持ち、それぞれの活動に熱き思いで、人々が明日への希望が持てる社会作りに貢献するという思いでスタートされました。

振り返ってみますとスムーズに勧められた事業、練りに練った事業、突然の事業と3つのパターンがありました。毎月の京都部役員会にて役員さんと交わり意見交換している間に人に対する思いやり、又意志の疎通が計られたものと思います。様々な事業がありましたが、役員一同の気持ちがひとつになった事で全ての事業が滞りなく終えられた事と思います。京都部役員の皆様の結集と京都部全てのワイズメン・ワイズメネットのお支えがあったからだと思います。大変感謝申し上げます。

気掛かりなのは京都部全体の会員数が増員出来なかった事です。トゥービークラブより新クラブ設立総会があり、会員増強の機運は高まっています。是非とも会員増強に力を注いで頂きたいと思えます。

1年間有難うございました。



京都部 直前部長 藤田寿男
(京都ウイングクラブ)

終わってみれば早いもので特に直前部長の立場としては、山中部長の身に何も起こらないようにと願う一年ではなかったかと思えます。部長のすぐれた健康管理のおかげで代役を務める場面もなく、ひたすら部長のしきる役員会や様々な事業を側面から拝見させていただき、周りのワイズメンの心配りや協力に対する感謝の念、多くの人たちとの楽しい出逢いと忙しさの中にも充実したワイズライフなど、今たぶん、役員の方々は昨年と同じ心境だろうと懐かしく思い出す日々でした。

次期部長の時代には現状を理解するのが精いっぱい、部長時代には“つつがなく”とは思いつつ、限られた予算の中で何か意義のあることができないかと思ひ悩み、こころざし半ばで次へと引き継ぐ。そして直前部長として出しゃばらずに期待する。今までも、これからもこんな繰り返しではないかと感じますが、繰り返し、そして少しずつ積み上げていくことが肝要かと思ひます。引き継がれるのは経験に基づく想いの伝承であり、同じ時と同じ場を共に過ごすからこそ、その想いが通じるのだと思います。部長と名のつく三年間は長いようで、それなりに必要とされる三年だと気づきました。



**京都YMCA統括連絡主事
加藤 俊明**

山中部長はじめ京都部役員の皆様、また京都部各クラブの会長のみなさま今期はお疲れ様でした。

この期も、京都部より京都YMCAに対しての暖かいご支援をたくさんいただきました。

この1年YMCAの諸事業が、各クラブの多岐にわたるご支援ご協力により進められてきましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

今期は、京都部において前期からの引継ぎ課題となっておりましたリトリートセンターのワーク等での作業の安全対策の徹底が、ワーク前の説明や注意の徹底により、また各クラブでの注意喚起もあり、大きな事故もなく終えることができましたことも感謝です。

また、今期新に広報主査からの提案で本館1階ロビーに各クラブのブリテンを自由に閲覧できるようにブリテンファイルを設置しました。まだ浸透が浅いせいクラブにより利用度はまちまちですが、会館ロビーに設置することでワイズ以外の人にもブリテンを見ていただく機会となっており、少しでもワイズの広報になればと思っております。今後も引き続きご利用いただければ幸いです。

＝＝＝＝＝ 今 期 を 振 り 返 る ＝＝＝＝＝



YMCA サービス・ユース事業主査
金澤 市郎 (京都クラブ)

主題を「進んで参加、楽しむワーク」と題してスタートした今期、1年を通じて数多くの事業に参加、事故もなく無事に1年を終えることができたことに安堵しています。

京都部が行った事業はチャリティーゴルフ大会、YYフォーラム、かもがわチャリティーランの三つです。ゴルフ大会ではホストしていただいた京都ウィングクラブの井上会長に大変お世話になりました。また、YYフォーラムでは只野Yサ・ユース事業主任にお越しいただき、予想はしていましたが「京都部の事業としては参加者が少ない」との辛口の評価も受けました。今後の課題とせねばなりません。

チャリティーランは当初、協賛金や参加者の減少が懸念されましたが目標をクリアすることができました。しかし、反省点は多々あるので次年度は評価会の中身を忘れずに企画することが大事かと思えます。

1年を振り返って感じますことは多くの方に支えられたことです。山中部長はじめ役員の皆さん、YMCAの職員、各クラブ会長他ワイズメンの方々、そして京都クラブのメンバーの皆さんには渉外費の名目でも支援していただきました。様々な経験と多くのことを気付かせてくれたことにも感謝しています。



地域奉仕・環境事業主査
松谷 隆史 (京都グローバルクラブ)

主題で、奉仕の心・環境への心と上げさせて頂きました。山中部長を先頭に、京都部の各役員様・各クラブ様の大きな協力を頂き、1年間を無事終える事ができました。

上半期には、地域奉仕事業の大きなイベントでワイズデーの開催がありました。国際事業でありますHIV/AIDSの最後の年でもあり、多くのワイズメン・市民の方がご参加頂き、凄く感謝致しました。

また部長との随行で、数クラブへの訪問させていただき、話下手な私の話を、真剣に聞いて下さった事に、大変嬉しく思います。

下半期には、京都部チャリティーボウリング大会も開催いたしホストクラブ様の力強いホストに感激致しました。この1年間主査の役職を頂き、感じた事は、ワイズメンの奉仕の心と環境への心が凄く感じる事が出来ました。野外での活動で、気軽にお声を掛けて頂き、頑張ってお声の一言が、私には、凄く嬉しい言葉でした。

最後に京都部のワイズメンの皆様、本当に一年間有難うございました。



EMC事業主査 高倉 英理
(京都トゥービークラブ)

京都部各クラブ EMC 例会や一泊交流会、また合同例会も盛んに行われメンバー増強に努めて頂きましたが、上半期には結果が出ず、半年報ではマイナス8名となりました。下半期は上半期の努力が徐々に実を結ぶクラブが増えました。トップスクラブでは4月に6名同時入会式という快挙を遂げました。トゥービークラブでは5月に新クラブを設立しました。キャピタルクラブでは6月に3名の入会がありました。

主査として積み残した課題もありますが、京都部各クラブのメンバー増強への意気込みが肌で感じられるようになってきたことが一番の喜びです。困難なこともたくさんありましたが、様々のことを勉強させて頂きました。何より本当にたくさんの方と出会えたことが私にとって大きな財産となりました。

至らぬ点が多々あったかと思いますが、みなさまの暖かいお心で、何とか一年間つとめさせて頂きました。本当にありがとうございました。

最後にまだ主査を経験されてないみなさん、機会があれば是非やってみてください。ご苦労はあっても、きっとあなたの財産となるとと思います。



ファンド事業主査 飛田 幸男
(京都めいぶるクラブ)

一年を振り返ると、目標設定は、奥田一彦ファンド事業主任に準じて設定させて頂きました。最初に各クラブファンド事業であるじやがいもファンドから始まりました。これは以前のように仕入れ先が北海道十勝の一箇所だけなら価格調整は簡単なのだが、現在はまちまちに仕入れられているので調整がつかない。天候不順とかで仕入れ価格が決定していない。なんとか最低価格だけは調整出来ましたが確かに難しいものであった。又、BFファンドの締切日が2回も変更された。国際の会計年が期日変更された為なのだが、都合1ヶ月半も早くなってしまった。各クラブには期日の確認を徹底して行って、各クラブとも素早く対応して頂いたので良かったと思います。

今期の終盤になってBF代表がカナダから来洛されました。当初はびわこ部にも立ち寄られるとのことでしたが、27日に熱海から直接来られました。トゥービークラブ新クラブ設立総会に案内し、明るく28日にはYMCA見学、泉涌寺、金閣寺を拝観して、夕刻より歓迎会をガーデンパレスホテルで持ちました。翌29日に中西部長へお引き渡しをして事なきを得ましたが、今回は特に西村メネット主査が英語に堪能でご助力頂きましたので幸運でした。

久しぶりの部役員となり、色々な方々との出会いがあり、楽しくさせて頂きましたことに感謝申し上げます。有り難うございました。

=====**今 期 を 振 り 返 る**=====



交流事業主査 片山 吉章
(京都センチュリークラブ)

今期交流事業主査の私の役目として、前期において私の娘がSTEPでカナダに行かせてもらった経験から、京都部の皆さんへYEEP、STEPへの理解と興味を持って頂くべくアピールする事でしたがあまり皆様へ上手くアピール出来なかった事が残念でした。娘のSTEPの様子等をDVDに記録した物を次期に引継ぎましたので今後何かの御役に立てればと思っております。前半はこれと言った事は無かったのですが、後半怒涛のごとくIBC、DBCの締結に向けて準備が急ピッチで行われました。結果、DBCで京都プリンスクラブ、東広島クラブ、東京サンライズクラブとのトライアングルが実現し西日本区大会において調印が行われました。

西日本区谷本交流主任も今期交流事業として最大のイベントだとおっしゃっておりました。その他DBCでは京都ゼロクラブさんが又IBCでは京都プリンスクラブさんが締結に向けて進行中であり本当に後半目白押しでしたが、この1年を振り返って皆様の御協力、御尽力に心より感謝申し上げます。

本当に1年間有難う御座いました。



メネット事業主査 西村 寛子
(京都プリンスクラブ)

6月24日、国際大会に向けて、部内各クラブ・メネットご協力いただいた『平和ペンギン』の発送を最後に、今期のメネット事業の全てを感謝のうちに無事終了いたしました。

事業年度初めより、新しい試みとしてのチャリティーイベントの開催を企画推進してまいりましたが、既にHPにてご報告させていただいております様に、当初の目的・目標を実現達成させていただきました。全てのM・メネットのご理解とご協力の賜物と感謝いたしております。独自のメネットファントム事業の実現が難しいクラブ・メネット会のないクラブ等のメネットの方々にもメネット事業へのかかわりを持っていただける機会作りになったのではと自負しております。

が、同時に実際にはもっと共に協議し活動できることを望んでおりましたがメネット会という組織そのものが無い現実と、クラブによって大きく異なるMのメネット事業への理解・取り組みが大きな壁となり、情報伝達や協同の困難さを産んだように思います。今後のメネット事業への大きなご理解を各クラブにお願いし、更なる充実したメネット事業が展開していくことを念じつつ次期へと引き継ぎたいと思います。一年間支えサポートしていただきました全ての方々に心より深謝いたします。



広報事業主査 平野 雅幸
(京都パレスクラブ)

ワイズメンズクラブを世間に知ってもらいたいと、おもい最初に考えたのは、三条YMCAに来られる方にもちょっとでもワイズメンズクラブを知ってもらえるようには出来ないかと考えて、京都部掲示板に加え、ブリテンバインダーを設置することでした。クラブの担当の方にはご面倒をおかけしましたが、結果、ワイズの方から楽しみにしているという意見をいただきました。WEB化されるなど他のクラブのブリテンを見る機会が減っているなか、紙媒体で見れる場を作れたのは結果的に良かったと思っています。加藤統括連絡主事には掲示板、バインダー等で随分とご協力をいただきました。また、他の主査と協働で取り組んだワイズデーをはじめチャリティーイベント等々、京都部のワイズメンの皆様にも様々なご協力を賜りました。

今期は新たに京都部ホームページを管理するという作業が加わりました。なかなかリアルタイムに更新することが出来ず皆様にはご迷惑をおかけしました。これはこれからの京都部のホームページの課題でもあると思います。一年間大変お世話になりました。有難うございました。



京都部 書記 松本忠正
(京都ウエストクラブ)

昨年の今頃は、私のような者で書記が務まるのかと不安を抱きながらの船出でしたが、山中部長のリーダーシップのもと、事務処理のプロ太田書記・会計のプロ岡崎さんと共に活動できたことをうれしく思います。

今期を振り返り印象に残っていることは、例年の継承行事の隙間に新たな行事を加える難しさ、準備期間の無さ、その中で横田滋さん・さきえさんをお迎えしての京都部大会。また西村メネット主査のもと行われた「メネットチャリティーイベント」、どちらも多くのメンバーに参加頂き大成功でした。

今後の課題として、ポテトの価格統一。各クラブ毎の活動ではなく、京都部全体が取組めるような大きなイベントの実施を考えるべきでは、と思いました。

私自身が体調をこわし、最後の行事 評議会に参加、できなかったこと、皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

一年間 ありがとうございます。感謝いたします。

===== 今 期 を 振 り 返 る =====



京都部 書記 太田雅彦
(京都洛中クラブ)

只今、この部報3号の編集の作業をしておりますが、編集完了しだい、正式印刷を経て配送手続きもって、私の締め仕事を迎えます。これまで、役員・会長のみなさまには、各種資料作成に当り、寄稿して頂くことをはじめ、多くのご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

毎回の原稿作成返信や出欠回答返信などで、中にはパソコン操作の面でも大きな負担を感じられた方が、あったかと存じますが、所定の文書類が欠けることなく作成でき、無事に終わられることに、感謝致します。

私、ワイズメンズクラブに入会して22年になりますが、クラブ外の役員を務めますのは、この京都部書記が初めてとなります。役員会、評議会、各行事、懇親会など多くの方々と出会い、加えて書記という役割立場ならこそ、電子メールによる、みなさまとのやり取りを通して、今までに無いさまざまな交流の機会を得ました。

また、組織の体系、規定、運営、文書制度などにも直接触れられ、この貴重な体験を私のワイズダムの新たな礎とし、所属の洛中クラブへもお返ししなければならぬと思っています。誠にありがとうございました。



京都部 会計 岡崎保則
(京都みやびクラブ)

山中部長の洛中クラブとみやびクラブが兄弟クラブという縁で京都部の三役のひとつを務めさせていただきました。

各クラブの皆様には部費納入をはじめ京都部の運営にご協力頂きまして誠にありがとうございました。

山中部長以下、書記の方々や各主査との交流を通じて新しい出会いができ、新たなワイズの輪も広げることができました。これもまた私のこれからのワイズライフの宝物だと思います。

次々期(16期)は私が所属する、みやびクラブから前部長を輩出します。そして再び京都部会計の就任を予定しております。

一年間、京都部の会計にご協力ありがとうございました。そして、16期には再びのご協力をお願い致します。

京都ワイズメンズクラブ 会長 小峠 昌徳

今期を振り返り、京都クラブが行った「新しい」IBC事業の報告をさせていただきます。京都クラブでは、前期の金澤会長より交流委員長の三井ワイズを中心に、「これまでの行ったり来たりの交流だけでなく、本来の交流事業について考えよう」と、会長諮問チームを発足させ、新しいIBC事業の方向について検討を重ねてきました。その結果、京都クラブでは、IBCを事業と呼ぶのであれば、締結クラブが力を合わせて協働で、ワイズ本来の使命に基づいた事業をIBCにおいても展開すべきだということになりました。

そしてIBC締結クラブの韓国・南大邱クラブへ2回に渡り訪韓し、新しいIBCのかたちとして、両国の青年を対象にした国際交流・理解・協力に関する協働事業に取り組む提案をし、賛同をいただき具体的に動き出しました。以下、今期成就したIBC事業の内容です。

(プログラム名称)

IBC・ユース・グローバル・スタディ= IYGS

(対象) 大邱 YMCA 青年ボランティア 2名

京都 YMCA ボランティア・リーダー 2名

(実施時期) 2010年2月2日～2月10日 9日間

(プログラムの内容と日程)

- 2月2日 京都からの参加者2名が大邱へ
大邱 YMCA にて研修 ホームステイ 3泊
- 2月3日 大邱からの参加者2名が京都へ
京都 YMCA にて研修 ホームステイ 3泊
- 2月5日 京都からの参加者2名が大邱から帰国
- 2月6日 京都 YMCA 主催の「グローバル・コミュニティ・スタディ・プログラム・台湾」(=台中 YMCA 監修の5日間の研修ツアー)に上記の大邱・京都の4名が合同参加台中 YMCA 4泊
- 2月10日 「グローバル・コミュニティ・スタディ・プログラム・台湾」から帰国

二つの国のIBC締結クラブが協働で、それぞれの地域のYMCAを支援し、YMCAにかかわる学生ボランティアの育成に携わり、さらに別の国のYMCAで研修し、その国のリーダー達とも交流を持つプログラム。京都クラブでは、今回のIBC事業により、今後はお互いのDBCクラブに呼び掛けて4クラブ協働事業にする、さらに協働事業を主題とした新しい形態のIBC・DBCの締結を目指すなど、IBCの新しい展開として発信していければと思います。



＝＝＝＝＝ 今 期 を 振 り 返 る ＝＝＝＝＝

福知山ワイズメンズクラブ 会長 西山 昌美

2009年7月14日会長交代のキックオフ例会で会長としての1年間が始まりました。最初の事業として、「クリーン弘法川の草刈り」と「魚つかみ大会」の大仕事がありました。昨年まで担当していた会員が突然亡くなったので要領がよくわからず、大あわてしましたが、少人数のクラブなりに24回も重ねてきた事業なので何とか実施しました。

前途多難な出発で不安を感じましたが、9月8日の例会にゲストとして女流落語家の「桂三扇」さんを招くことができ、取り直し、9月13日の京都部部会には9名が参加して盛大な部会に感激しました。10月9日は、じゃがいも530箱・かぼちゃ40箱が入荷し、全員で作業し完売してその成果を喜び合いました。10月13日の例会は京都部部長公式訪問、山中部長、金澤YMCAサービス主査、飛田ファンド主査の3名を迎え、福知山クラブの現状と今後の活動について話がはずみました。12月19日クリスマス例会をYMCAと合同で開催、綾部市からゲストに手づくりコマの演技名手を招き盛大にお祝いしました。

下半期は、1月11日に第33回小中学生席上書初大会を実施、参加43名でした。5月3日は第45回福知山市子ども大会に参加。例会のゲストには福知山市の江戸時代を語っていただきました。今の時代を考え直す、良い企画であったと自画自賛しています。

「今期を振り返る」という題が行事の羅列に終わってしまいましたが、今にも消えんとする我がクラブが私の会長年に消えずに残ったことは、現在8名の会員と奥様方の協力があったからです。



京都パレスワイズメンズクラブ 会長 隠塚 功

パレスクラブは来年40周年を迎えます。その節目に向け、38期の田中会長から連携した取り組みを行っており、今年の副題も「ステップの年」として、次期の山本会長につなげる取り組みをしてきました。その意味でも、39期は「感謝の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」を表題として、YMCAとの関係強化、支援事業所との事業の見直し、IBC・DBCとの交流強化、メンバー数増強などに取り組んできました。また、HAのメネット出席率を高める目的で、年4回の特別例会に集中的に招待するなどの取り組みも行いました。

YMCAとの関係強化については委員会をYMCAで行い、より身近に感じる取り組みから始めましたが、今期のYサ優秀献金賞をいただくまでになりました。

支援事業所との関係についても、現金支援から子どもたちの求める現物支援に切り替えることができ、私たちの姿が見えやすくなったと思っています。

IBCには英語版のブリテン送付や、IBCメンバーのコメントの受け入れなどを行い、各クラブとの関係強化を図ることができました。

さらに、メンバー数を次期100人とする目標に向かって進み中で、現在56人にまで増加し、EMC最優秀クラブ賞も受賞することができました。

何れも、委員長のリーダーシップや三役のフォロー、そしてメンバー全員が意識して取り組んでいただいた結果であり、一年間の皆さんの協力に感謝しています。また、40期を充実した一年にするために、なお一層協力し合い頑張っていきたいと思っています。



== 今 期 を 振 り 返 る ==

京都ウエストワイズメンズクラブ 会長 牧野 万里子

下半期の活動の中心は、5月5日の30周年記念例会でした。メンバー全員が一丸となって取り組んできた結果、多数の方々にご参加いただき、265名という多くの人数で記念例会を開催することがで、心に残る素晴らしい例会となりました。

今期は30周年を迎えるにあたり、環境問題への取り組み“プロジェクトW”を何かの形にしたい、という思いから、会長標語を“プロジェクトW総集編”と表現させていただきました。メンバーで話し合いを重ね、環境問題への新たな取り組みとして、京都西山の放置竹林再生事業を始めることができました。今後はメンバー一同で知恵を出し合って、40周年には大きな花を咲かせる事業になるよう取り組んでいきたいと思っています。

前期の西日本区大会で、“ベストパートナー賞”を受賞したクラブとして、今期も何か交流事業を企画したいと思っていたところ、台北ダウントウンクラブから、記念例会に24名のメンバーで参加しますとの嬉しいお知らせがありました。そして記念例会の夜、IBC、DBC、IBCペンタゴン合同の交流会を開催することができました。30周年という記念すべき日にこのような素晴らしい交流会を開催できたことは、とても感謝すべきことです。ワイズメンの友情の素晴らしさを改めて実感することができました。

30周年という記念すべき年に会長をさせていただいた事にとても感謝しております。このような素晴らしい機会を与えてくださったメンバーの皆様方に、心よりお礼申し上げます。一年間ありがとうございました。



京都めいぶるワイズメンズクラブ 会長 坂下 昌史

今期は自分自身にとって非常に早く過ぎワイズに尽くした一年であったと思います。リトセンの開設ワークから期がスタートし、サバエ・YMCA・京都部・めいぶる独自の事業と多くの事業に携わりボランティアリーダーたちの希望に燃えた明るさに触れ改めてYMCAをサポートする意義を実感出来たと思います。

今期の独自事業としては、特に新しい物はありませんでしたが、クラブの地域奉仕事業として10年来サポートしている社会福祉法人 西陣会「ふらっと」が今期20周年を迎えられ、今後も末永くサポートをしていきたいと感じ、また、20年来続いている養護施設 積慶園へのサポートはYMCAの事業参加とは違った感動を何時も我々に与えてくれました。養護施設 積慶園へのY O U友フェスタは昨秋に行われる予定でしたが、新型インフルエンザの為に中止となってしまいが、今年の5月には「青空せつけい えんごみゼロ運動」を行い子ども達との交流が図れたと思っております。

また、クリスマス例会もプリンス・ウェル・めいぶると3クラブ合同で行い、部内でも良い交流が図れたと思います。メネット事業でもペンギンや鶴を沢山ご協力いただき、“メネットなくてはメンはない”という様なメネットパワーを感じさせて頂きました。毎月様々な事業がある中、メンバーが熱心に事業に取り組む姿が見受けられましたが、例会については京都部の中でも出席率が低く、今期は1人の入会者、4人の退会者という結果になり、京都部の中で足を引っ張っていたのは申し訳なくて仕方ありません。出席する者が限られ出席が少ないメンバーへのフォローが会長としての至らなかった所でもありました。

今期主題としていた「魂の継続 ～25周年から50周年にむけて」という主題を掲げさせて頂きましたが、昨期の松尾会長の主題でもあった「未来に向かってパス」を何とかキープできたかなあ？と自画自賛しております。今後もこの会長経験を生かし、クラブに良いアシストができればと思っています。拙い会長ではございましたが京都部役員の皆さま、京都部会長の皆さま、何よりメンバー・メネットの皆さまに感謝いたします。

一年間楽しかったです。ありがとうございました。



＝＝＝＝＝ 今 期 を 振 り 返 る ＝＝＝＝＝

京都キャピタルワイズメンズクラブ 会長 瀬本 純夫

まずは今期一年無事に会長職が全う出来たことに心より感謝申し上げます。昨年度を 25 周年記念の盛り上がりのうちに終えた後、その反動が出ることを少し心配しておりましたが、そんな心配が全く不要なほど順調に一年を過ごすことが出来ました。今期は各事業委員長に委員会の毎月開催をお願いし、委員会メンバーに役員会の様子を伝えてもらい、そのことから、メンバー全員にクラブ内のことが十分に周知でき、メンバー間の繋がり、クラブとの繋がりを感じていただけたことと思います。

また次期仁科理事を輩出するに当たり、数がクラブの力の全てではないにしろ、新しいメンバーの増強が不可欠との点から、EMC 委員会とドライバー委員会の協働により、5 名の新しい仲間を迎えることが出来ました。この増強に対する意識は次期にも受け継がれることと思います。また過去 3 年間模索してきた地域奉仕委員会の新しい支援事業が行えたことも大きな喜びでした。『リトセン・メタセコイヤ・フェスティバル』と題し、これまでにお手伝いしてきたベテスダの家、桃山こおろぎの他、新たにみつくすはあつ、虹のつばさ&“きこえとことば”、子どもくらぶのメンバーを合わせて 162 名の参加で開催しました。参加メンバーのアトラクションと屋台で提供した食事を楽しみながら、有意義なひとときを持つことが出来、次期以降も継続していく事業となりました。その他に書ききれないほどの事業が委員長、メンバーにより滞りなく行われました。

最後になりますが、この一年お世話になりました役員の方、皆さまそしてメンバー、メネットの皆さまに感謝いたします。有難うございました。



京都プリンスワイズメンズクラブ 会長 金丸 太一郎

「語り合おうワイズで」思いやり 笑顔のもと、会長になって早 1 年経ちました。スタート早々退会者が出てこの 1 年どうなるかと不安な気持ちでした。しかしこれもクラブにとっての問題点を考えさせてくれた良い機会だったと思います。退会者が出た事で逆にクラブ全体がクラブの今後を考え、輪が生まれたと実感しています。

下期は、京都部メネットチャリティー事業で、我クラブより、京都部メネット事業主査として西村メネットを輩出しているのでプリンスクラブ挙げて応援しました、皆様のご協力のお陰で盛大に開催出来たことを感謝致します。また、かもがわチャリティーランでは前期同様ホットドックの屋台を出し、早々に完売しました。その時に、毎回盲導犬センターの方をお招きし、盲導犬育成支援金をお渡ししました。

そして西日本区大会にて東広島クラブと東京サンライズクラブとのトライアングル DBC を締結し、その交流アワーを開き今後の IBC、DBC の方向を話し合いました。

会長をさせて頂き、色々体験させていただきました、苦手なスピーチも何とかこなせる様になりました。1 年間会長職を務められたのも一重に我クラブのメンバーをはじめ、山中京都部部长及び役員様のお陰と感謝しております。

1 年間本当に有難うございました。



===== 今 期 を 振 り 返 る =====

京都センチュリーワイズメンズクラブ 会長 志賀 昭夫

「何も足さず、何も引かず」クラブの「現状を見つめ、今後を考える」期間と位置付けての一年は、まさにアツという間に過ぎていきました。

メンバーの高齢化と減少は、組織としては根本問題といっても過言ではない現状を踏まえ、役員会等での論議も活発且つ真剣になってきました。

メンバー同士はいつも和気あいあい、何かがあればすぐに皆が集まり、一緒に行動、私的な交流も少なくないのに、何故か組織の拡大には繋がらない。我がクラブだけではないと思うが、個々のメンバーの価値観の多様化がその原点にあるように思われたのも現実です。「ワイズもクラブのメンバーも好きだけれど」、「楽しく、仲よく出来ればそれでいい」という人から「より多くの出会いを求めて活動を広げよう」という人まで、まさにその「温度差」は大きいと感じたことも事実です。

一年の締めくくりともいえるべき、当クラブの恒例行事「新旧会長を囲む会」では、こうした反省を踏まえて、次期の取り組みを真剣に議論することが出来「全ての活動・行事をEMCに繋げる」ことを申し合わせ「例会講師の選考」にあたり、「メンバー候補を呼び込める内容にする」こと「メンバー候補を一人でも多くゲストに迎える」ことにまず取り組むことを申し合わせました。

楽しむだけの「仲良しクラブ」に止まることなく、クラブ再生に向けて「一人ひとりが努力する」こと。当たり前のことであっても、全員の共通認識として方向付けが出来たことに意義を感じる一年でありました。

京都ウイングワイズメンズクラブ 会長 井上 英也

長いようで短いようでなんとか1年間無事会長職を務めることが出来ました。期初にかかげた「少年のように」という主題のもとに、何事にも真剣にまじめにとりくむことを自分にいいかせて、時間の許すかぎりすべての事業に参加しました。若いメンバーの増強は必須の課題だと考え、その条件を整える為に出来るだけ負担の軽減を図ろうと、今までのウイングの慣例をやぶるお金の使い方を提案して、メンバーの理解も得ることが出来ました。おかげで3人の30代のメンバー増につなげることが出来ました。6月末に退会者もでしたが、来期入会につながるメンバー候補も数名おられ、よりウイングをパワーアップしていきたいと次期に託します。

会長をさせていただいてよかったことは、普通なら一生知り合うことのなかったであろう多くの人に出会えたことです。「あの人こんな仕事しておられるんや」「あの人熱心に頑張っておられるなあ」「あの人ワイズメンやったのか」と出会いの感動がいくつもありました。ワイズメンということで、赤の他人だった人と即親近感・信頼感が生まれる。これらすべて私がワイズメンズクラブのメンバーであったおかげだと思います。

ウイングクラブは強い個性の集団です。議論しあってお互い認め合い、許しあいよりよい大人のクラブにしていっていただきたい。その時大切なのは軸（理念）がぶれないことだと考えています。皆様本当にありがとうございました。

(西日本区大会での宮崎クラブとの交流風景)



== 今 期 を 振 り 返 る ==

京都洛中ワイズメンズクラブ 会長 山内 和生

あっという間の一年でした。

つい、このまえ会長主題を考えていたと思ったのに、はや広島の新日本区大会を体験し、無事引継例会で会長バッジをはずすことが出来ました。しかし一番苦手なこの原稿書きの仕事が残ってました・・・。

一昨年にクラブ設立20周年の記念例会、記念行事、そして今期部会ホストと、ここ数年イベントの準備に時間を当てて来ました。部会を前半に終えクラブ内はたるみがち。

でもメンバーの皆様の協力で各事業もすべて予定通りに遂行出来ました。大きなことはなに一つありませんが長年継続している事業ばかりです、まさに「継続は力なり！」と実感しています。

3月の例会では、養護施設つばさ園の園長先生に例会でスピーチをして頂きました、近年児童数の増加で子供達の住環境の改善が必要ということで施設の増築を計画「未来のつばさ園基金」を設置し目標に向かってがんばっていると聞き、私たちクラブも20年のお付き合いとなり、今後のサポートの一つの目標としたいと考えています。

今期久しぶりに入会者を迎え、青年会員獲得賞、そしてノンドロップ賞を頂き有終の美を飾ることができました、2回目の会長で手抜きだらけでありましたが充実した一年となりました。ありがとうございました。

京都エイブルワイズメンズクラブ 会長 片ヶ瀬 重雄

6月26日引き継ぎ例会におきまして、白濱次期会長に無事引き継ぐことが出来ました。いろんな意味で不安一杯のスタートでしたが「やっと終わった」と言うのが正直な所です。この間、京都部長、役員、各会長の皆様との新しい出会いがあり楽しくお付き合いさせていただきましたことに感謝申し上げます。

上期も下期も様々な事業をやり遂げてきましたが今期は20周年の節目の年を迎え更に忙しい期となりました。少人数で多くの事業をやり遂げてこられたのもメンバー1人1人が創意工夫、バイタリティー溢れる活躍をしてきたからです。20周年記念例会では予想を上回る175名のワイズメンのご出席を賜り改めてワイズメンの絆を感じ一同感激しました。記念事業としてYMCAにガーデンライト一式寄贈させていただきました、きっと安全、安心なキャンプが出来ることでしょう、その後の20周年記念森の中の音楽祭では地域の皆様方の多数のご来場をいただき、盛大に開催しました。この様な地域に密着した地域奉仕・環境事業が認められ西日本区大会で優秀賞をいただきました、増員計画5名でしたが上期1名入会、下期1名退会と残念な結果に終わりましたが次期西日本区より林良廣ysが地域奉仕・環境主任として選出された事はクラブとしても大変喜ばしいことです、

一方、京都部長、京都部役員要請に応えられなかったことは残念ですがクラブ状況を考えた場合、やむを得ない事でした。今は少ないメンバーですが何度も達成感を経験してきた者の集まりがエイブルです、これからも地域に必要とされるクラブとして、新しいメンバー獲得のために活躍してゆくことでしょう。



＝＝＝＝＝ 今 期 を 振 り 返 る ＝＝＝＝＝

京都グローバルワイズメンズクラブ 会長 萩原 隆人

広島での西日本区大会には20数名のメンバーと共に参加できた事をととても嬉しく思っております。振り返ってみると昨年の熊本大会からもう1年以上が過ぎており、会長として活動していた期間がなんと短かった事かと実感しております。主題に「あなたの笑顔がみたいから」を掲げ、ドライバー委員会だけでなく全ての委員会やメンバーを巻き込んで楽しい例会、楽しいワークを心がけてきました。この1年で一番笑っていたのは会長である私だったのは間違いありません。

新入会員増強では40歳未満の青年会員3名を迎える事が出来ました。5月にはリトリートセンターで修光学園の園生や父兄の方たちをお迎えしての「ふれあい例会」が晴天の中、総勢145名で開催できました。

DBCは2月20日熊本クラブ60周年記念例会に訪問し、IBCは台中エバーフロッククラブが6月2日に訪日され、お互いの親交を深めることができました。国際CS委員会では下期においてもチャリティーゴルフを開催し、世界の子供たち支援のための資金を集める事が出来ました。

三役、委員長はじめ全メンバーの協力のもと、こうして今年もクラブの行事が滞りなく行う事が出来ました事、感謝申し上げます。

今後も「笑顔」でクラブライフを楽しんでいこうと思います。今期の京都部会長の皆様、これからもよろしくをお願いします。



京都みやびワイズメンズクラブ 会長 中原 茂

下半期は、親子クラブ恒例の、ウエスト・洛中・みやびの3クラブ合同新年例会のホストからスタートしました。ウエストは30周年を控え、洛中は部長輩出と、皆さん大変頑張っておられたので、ほっとする様な、和みのある例会を企画しました。3月には、7年目になる、発達障がい児セミナーをYMCAと共催。また、プリンスクラブを迎えての合同例会は、視覚障害者の松永信也さんにお話ししていただきました。4月には、毎年交互に交流している熊本むさしクラブを京都に迎え、京都の桜を堪能していただきました。5月はサバエキャンプ場の芝生の補修作業として、ティフトン芝を植栽。そのあと、メンバー候補を交えてバーベキューで楽しいひと時を過ごすと共にYMCA理解にも一役かいました。

さて、1年間こうして会長を務めさせていただいた中、毎月開催された会長会は、情報交換の場として有意義な時間でもありました。各クラブの例会の工夫、EMCの工夫、ファンドの工夫等アイデアは尽きません。今後皆さんの知恵を拝借させていただきます。また、中でも京都クラブの考え方は勉強になりました。IBCの交流の仕方について、献金について勉強会をされたり、さすがに歴史あるクラブであると興味を持ちました。この様に他クラブの方との新たな出会いも貴重なものでした。

最後に、初代会長の死去という、クラブでは初めての事に直面し、メンバー悲しみましたが、次期早々の例会で2名の入会式を控え、皆で「みやびの未来地図」を描いて参りたいと思います。三役の皆さんメンバーの皆さん部役員の皆さんありがとうございました。



===== 今 期 を 振 り 返 る =====

京都トップスワイズメンズクラブ 会長 廣田 隆治

会長として今期を振り返ると、トップスの特等席でクラブライフを楽しめた1年でした。

私はメンバーの皆さんが一生懸命な会長を見て思わず応援したくなるようにと、行事には早く現場入りするなど、やる気モードを感じてもらおうよう務めていたのですが、だんだんそれが自然体で出来るようになりました。

三役さんには月に一度、第三金曜日に午後7時半に私の事務所に集合していただいたのですが、話が興じると日付が変わるまで話し込み、クラブの事や仕事の事、プライベートな事など話し込んだのは、私にとってかけがえの無い楽しい有意義な時間でした。

上半期の事業として印象に残っているのは、韓国釜山西面クラブのメンバーを秋の京都に来ていただいたIBC事業。物事をストレートに伝えられる韓国のメンバーと、奥ゆかしく上品？なトップスのメンバーとの対比は、文化の違いを肌で感じる事が出来る、インターナショナルクラブの真骨頂です。

下半期では4月の6名の新入会員を迎えた入会式が特に印象に残っています。

河原EMC委員長の主題 YES WE CAN 基本方針20周年50人を目指しての挑戦だ に触発され沢山の人数で開催する例会の楽しさを味わった事。例会後の懇親会の流れ。ゲストへ

の心使い、オリエンテーションの充実、フレッシュな年齢のメンバーが若いゲストを呼べる好循環とクラブ全員がいいムードになり、このいいムードを翌期に繋げそうです。

最後になりましたが、皆様一年間有難うございました。



京都トゥービーワイズメンズクラブ 会長 田中 和幸

会長主題に「共生」という言葉を掲げ、「共生」の集大成として新クラブのエクステンションで一年を締めくくることが出来ました。

一年前の定時総会にてエクステンションをすることが決まり、この一年間はエクステンションに始まり、エクステンションに締めくくられた一年であったと言っても過言ではありません。京都部での5年ぶりとなるエクステンションを計画し、去る5月27日に「京都 ZERO クラブ」の設立総会を開催することが出来ました。過去、多くのクラブの皆様がエクステンションをされることにより、今日のワイズメンズクラブの興隆があることを考えますと、ようやくトゥービークラブも諸先輩クラブの仲間に入れたものかと思っております。

30名程度のクラブがエクステンションを行い、その結果両クラブ合わせてメンバーが60名となること。これがこのエクステンションの大きな目的であるとともに、京都部・西日本区のEMC活動に少しでも刺激を与え、次期へ向け、ワイズメンズクラブ全体の活性化に繋がっていくことを願っております。

メンバー各位に感謝させていただくとともに、部長をはじめ京都部役員の方々、そして各クラブの会長の方々、ありがとうございました。

次期の部報には「京都 ZERO クラブ」が増えます。トゥービークラブともども、ZERO クラブをよろしく願いいたします。



＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 今 期 を 振 り 返 る ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

京都東稜ワイズメンズクラブ 会長 小出 文明

今期は“絆”を主題に会員同士、家族、京都部クラブ同士の絆を高めていこうと EMC 中心にクラブ員家族とゲストを交え年4回の散策を行いました。残念なことにゲストさんの参加がなくクラブ員増員にはいたりませんでした。今後の課題となりました。散策は観光地の再認識になりましたし大変興味深い内容であり楽しい散策でした。京都部クラブの絆としては 部長参加の毎月のクラブ会長会が開催されて 回数重ねることに打ち解け、また色々の情報交換が行われたように感じました。ファンド商品の情報とか、会のやり方、イベントの直接案内等々、本当にいろんな話ができました。なかでも会員増強が共通の悩みですし、課題でした。ある意味で会運営の永遠の課題だと思います。

YMCA との関わりはまずまず出来たとおもいますボランティア活動もまずまずだとおもいます。だだ地域に密着した施設等々の支援活動がまだ絞りきれてなく未実施に終わりました。

とはいえクラブ員様のお力添えで 無事1年を終えることが出来ましたこと、また各クラブの会長様のお力添え心より感謝申し上げます。



京都ウェルワイズメンズクラブ (第6代) 会長 中村 隆司

今期一年を振り返り、まず一番に頭に思い浮かぶ事と言いますと、やはり自クラブの立て直しがうまく行かなかった事になります。節目の5周年を機会に何とかもう一度メンバーみんなで心をひとつにし、力を合わせ、盛り返そうと奮起しスタートしたのですが、現状維持すら出来ず更にメンバーが減ってしまうという最悪の結果となってしまいました。スタート直後には直前会長が突然退会してしまうという事態が起こり、メンバーのテンションが一時は完全に下がってしまっていたのですが、何とか5周年を皆様のお陰で無事に執り行わせて頂く事が出来、また下半期も頑張ろうという気持ちに皆がなっていました。

しかし、またもやメンバーの一人が消息不明になってしまうという事態が起こり完全に意気消沈してしまいました。更にもう一人、キーメンバーが今期限りで退会され途方に暮れていましたが、今期最後の引継例会で待望の新メンバーが一人仲間に加わり、次期への希望の光が差ししました。それを糧に次期こそはと奮起し頑張っていこうとメンバー一同思っております。

それに私個人的にはとても有意義で充実した楽しい一年でありましたので、このクラブの素晴らしさや楽しさを沢山の仲間たちに伝えていきたいと思っております。こんなウェルクラブですが、皆様今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



京都部 第14期 決算 (2009.07.01～2010.06.30)

区分	科 目	当初予算額	修正予算額	決算額	備 考
収入の部	部費	1,350,000	1,302,000	1,290,000	前期434×@¥1500 後期426×@1500
	部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
	部活動援助金2	90,000	86,800	87,000	西日本区より 435×@200
	西日本区ファンド収益	0	0	0	
	利息	0	0	275	
	単年度収入小計	1,540,000	1,488,800	1,477,275	
	前期繰越金	748,087	887,060	887,060	
	合 計	2,288,087	2,375,860	2,364,335	
支出の部	事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費@ ¥ 20,000×7事業
	部事業費	495,000	495,000	371,151	
	会議費	125,000	125,000	118,000	役員会・評議会の会場費等
	印刷費	284,000	284,000	282,796	部報・会議資料等
	部会補助費	450,000	450,000	415,939	
	研修費	208,000	208,000	200,000	研修会登録費
	通信費	41,000	41,000	41,560	郵便・振込み・部ホームページ維持費
	事務費	30,000	30,000	0	
	慶弔費	20,000	20,000	7,633	
	単年度支出小計	1,793,000	1,793,000	1,577,079	*
	次期繰越金	495,087	582,860	787,256	a
	合 計	2,288,087	2,375,860	2,364,335	

特別会計の部

収入	前期繰越金	150,958	150,958	150,958	
	一般会計・部事業費より	200,000	200,000	200,000	リーダー支援金
	合 計	350,958	350,958	350,958	
支出	スタディーツアー支援金	0	0	200,000	リーダー海外研修支援
	YC支援金	200,000	200,000	0	
	次期繰越金(予備費)	150,958	150,958	150,958	b
	合 計	350,958	350,958	350,958	

次期繰り越し合計 (a+b) 938, 214

以上の通りご報告申し上げます。

2010年7月3日 第14期(2009年～2010年度)京都部会計 岡崎保則 印

上記報告に基づき、監査を実施しました所、適正に処理されていたことをご報告申し上げます。

2010年7月13日 第14期(2009年～2010年度)京都部監事 新山兼司 印

京都部 第14期（09-10年度）部関連の主な行事報告

2009年

- 4月24日（金）Yサ・ユース事業 懇談会
 5月 9日（土）メネット引継ぎ会
 29日（金）EMC事業 交流会
 6月12日（金）役員会（現・次期合同）
 21日（日）第1回 評議会
 28日（日）リトセン夏季準備ワーク
- 7月 3日（金）第1回 役員会
 5日（日）第1回サバエキャンプ場開設ワーク
 7日（火）メネット連絡会
 11日（土）～12日 区 第1回役員会
 12日（日）第2回サバエキャンプ場開設ワーク
 21日（火）公式訪問 京都キャピタルクラブ
 24日（金）部報 第1号発行（ホームページ）
 24日（金）ファンド事業 懇談会
- 8月 3日（月）地域奉仕・環境事業 懇談会
 5日（水）公式訪問 京都プリンスクラブ
 7日（金）第2回 役員会
 19日（水）公式訪問 京都グローバルクラブ
 24日（月）公式訪問 京都めいぷるクラブ
 26日（水）公式訪問 京都トゥービークラブ
- 9月 2日（水）公式訪問 京都トップスクラブ
 4日（金）第3回 役員会
 6日（日）リトセン秋季準備ワーク
 8日（火）公式訪問 京都クラブ
 13日（日）第2回評議会、京都部第14回部会
- 10月 2日（金）第4回 役員会
 8日（木）公式訪問 京都東稜クラブ
 10日（土）京都ウエルクラブ5周年記念例会
 13日（火）公式訪問 福知山クラブ
 16日（金）京都部EMCシンポジウム
 27日（火）公式訪問 京都エイブルクラブ
- 11月 1日（日）ワイズデー HIV/AIDS 講演会
 “ ワイズデー 国際協力街頭募金
 2日（月）公式訪問 京都ウエルクラブ
 6日（金）第5回 役員会
 11日（水）公式訪問 京都パレスクラブ
 14日（土）～15日 区 第2回役員会
 15日（日）リトセン オータムフェスタ
 18日（水）公式訪問 京都みやびクラブ
 26日（木）公式訪問 京都ウエストクラブ
- 12月 4日（金）第6回 役員会兼忘年会
 14日（月）～19日（土）
 クリスマスロビーコンサート
 18日（金）クリスマス・キャロリング

2010年

- 1月 8日（金）第7回 役員会
 21日（木）公式訪問 京都センチュリークラブ
 24日（日）京都部 第7回
 チャリティーボーリング大会
 31日（日）京都YMCA・京都部 合同
 ハイチ大地震緊急支援街頭募金
- 2月 1日（月）第6回かもがわチャリティーラン
 第1回 拡大実行委員会
 4日（木）公式訪問 京都ウイングクラブ
 5日（金）第8回 役員会（現・次期合同）
 6日（土）～10日 京都YMCAグローバル
 コミュニティデザインプログラム
 14日（日）第3回評議会
 20日（土）京都エイブルクラブ20周年記念例会
 21日（日）車椅子駅伝 介助
 28日（日）メネットチャリティーイベント
- 3月 5日（金）第9回 役員会
 6日（土）折りづるラン京都駅～京都YMCA
 11日（木）公式訪問 京都洛中クラブ
 “ 部報 第2号発行
 13日（土）～14日 次期会長・主査研修会
 14日（日）京Y卒業リーダー祝会
 21日（日）チャリティーゴルフコンペ
- 4月 2日（金）第10回 役員会
 4日（日）折りづるラン 京都YMCA～草津駅
 10日（土）～11日 区 第3回役員会
 区 第1回準備役員会
 18日（日）YYフォーラム、夜桜フェスタ
- 5月 5日（祝）京都ウエストクラブ30周年記念例会
 7日（金）第11回 役員会
 16日（日）かもがわチャリティーラン
 27日（木）京都ZEROクラブ設立総会
 “ ～29日 BF代表 来洛歓迎
- 6月 4日（金）第12回 役員会（現・次期合同）
 12日（土）区 第4回役員会
 区 第2回準備役員会
 代議員会
 ～13日 西日本区大会
 20日（日）午前：第4回 評議会
 午後：次期第1回 評議会
 25日（金）京都部メネット会
- 7月中 部報 第3号発行



第二報

第三部 宴会

午後五時～午後七時三〇分

第二部 講演

講師 上原 忠晴様
演題 「反社会勢力からワイズメンズクラブ会員を守る特効薬！」

第一部 式典

午後二時～午後三時四〇分



ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区

第十五回
京都部
部会のご案内

お問い合わせ（ホストクラブ）



京都グローバル
ワイズメンズクラブ

京都部部長 阪田 民明
部会実行委員長 小川 敏雄

◎ 例会振替えをお願いします

開催日 二〇一〇年九月十二日（日）

登録受付 午後一時

登録費 一万円

場所

リーガロイヤルホテル京都（堀川塩小路）

春秋の間



京都部部会テーマ

『京存共栄』